

繊維産業のサステナビリティに関する検討会について

2021年2月

経済産業省製造産業局生活製品課

1. 本検討会の開催趣旨

2015年に国連で「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals (SDGs))が採択され、国際的にサステナビリティへの機運が高まっている。欧州でも欧州委員会(EU)が「サーキュラー・エコノミー・アクション・プラン」を発表するなど、サステナビリティに関する取組が進められている。

繊維産業は、糸や生地の素材の製造に始まり、製品の企画・製造から流通・販売に至るまで、長いサプライチェーンを築いていることが特徴である。各工程においてサステナブルな取組が求められており、我が国企業においても、環境に配慮した素材の開発、国際的な認証取得、店頭回収などの取組を開始している。

加えて、責任あるサプライチェーン管理は、今後の企業経営にとって重要な視点となっている。

また、我が国の繊維産業は、新型コロナウイルスの感染拡大により、大きな影響を受けている。一方で、サステナビリティを踏まえた経営戦略の見直しなど、新たな取組を開始する事業者も出始めている。

本検討会では、こうした状況を踏まえ、繊維産業におけるサステナビリティへの取組を促進するため、「供給構造」、「環境配慮」、「責任あるサプライチェーン管理」等について議論・検討し、とりまとめる予定である。

2. 本検討会の進め方

月1回程度開催し、今夏を目途に報告書を取りまとめ予定。